

キリスト教思想特講I				【単位数	2単位
授業コード	15800	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	岡田 紅理子				
時間割備考					
授業形態（主）	2 演習				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
キリスト教は、ナザレのイエスという人物を核とした宗教運動として、ローマ帝国支配下においてユダヤ教内部から生まれた。つまりキリスト教は、ユダヤ教やヘレニズム・ローマ社会の思想的な影響を強く受け、形成されたのである。さらに、宗教改革・大航海時代から植民地・帝国主義時代、そして世界大戦を経るなかで、キリスト教はそれぞれの時代、文化、文脈と応答しながら、さまざまな変革・刷新を経験してきた。 本科目では、テーマに沿って履修者が持ち寄った文献を講読し、プレゼンテーションとディスカッションを交えることに軸足を置く。そして、「世界宗教」となったキリスト教の經典である「聖書」を読み解くために必要な知識を身につけ、キリスト教の本質とアイデンティティを考察していく。 1期では、イエスの思想と行動原理について、当時の宗教、文化、社会状況を踏まえて検討していく。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	聖書に記された事柄を字面通りに読み、理解しようとするのではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる			思考・判断・表現力／主体性	
2	聖書に記された事柄の史実性／非科学性ではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる			思考・判断・表現力／主体性	
3	キリスト教の思想・概念を交えながら、イエスが示した人間観・社会観を考察できる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	イエス運動の変遷を整理し、その特徴を具体的に説明できる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への取り組み態度（ディスカッション含む） 30%			1／2／3	
2	プレゼンテーション 30%			1／2／3	
3	レポート 40%			1／2／3／4	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. イントロダクション					
事前学修	履修する理由、意義を考え、まとめる				1時間
事後学修	イントロダクションを踏まえて考えた（考え直した）履修する理由、意義をまとめる。また、自分の関心を考察し、講読したい書籍を探す。				1時間
2. 講義：聖書とは					
事前学修	聖書とはいかなる書物なのかについて、書籍を探して調べ、まとめる				2時間
事後学修	講義とディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる				2時間
3. プレゼンテーション：人間と神の関係					
事前学修	聖書に描かれた人間と神の関係について、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす				2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる				2時間
4. プレゼンテーション：キリスト待望論					
事前学修	キリスト待望論とはなんであり、どのような社会背景が当時あったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす				2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる				2時間
5. プレゼンテーション：イエスが生きた時代					
事前学修	イエスが活動していた時代に人々が置かれていた状況について、宗教事情との関連から書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす				2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる				2時間

6. プレゼンテーション：イエスと使徒たちの出会い		
事前学修	イエスの弟子となる人々がいかなる生活を送っていたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
7. プレゼンテーション：イエスが伝えた神の国①神		
事前学修	イエスが語った「神」とはどのような存在なのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
8. プレゼンテーション：イエスが伝えた神の国②たとえ話		
事前学修	イエスがなぜたとえ話をういたのか、またたとえ話で語られた「神の国」とはどのようなものなのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
9. プレゼンテーション：イエスが伝えた神の国③奇跡物語		
事前学修	聖書に描かれた奇跡物語が読者に何を伝えようとしているのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
10. プレゼンテーション：イエスが伝えた神の国④ゆるしといやし		
事前学修	聖書で描かれる「ゆるし」と「いやし」とはどのようなものであり、それを受けた人々はどのように変化したのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
11. プレゼンテーション：イエスに訪れた危機		
事前学修	イエスになぜ危機が訪れたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
12. プレゼンテーション：イエスの受難、死、復活①死への覚悟		
事前学修	イエスがいかにして死を受け入れていったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
13. プレゼンテーション：イエスの受難、死、復活②最後の晩餐とゲツセマネの祈り		
事前学修	最後の晩餐でイエスが語ったことの意味は何であり、またゲツセマネの祈りで何を望んだのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの執筆をはじめ	2時間
14. 講義：イエスの受難、死、復活③復活顕現物語		
事前学修	弟子たちの復活体験とはどのような体験だったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義とディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの執筆を進める	2時間
15. まとめ		
事前学修	キリスト教の思想・概念を交えながら、イエスが示した人間観・社会観を考察し、まとめる	3時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの完成に取り組む	3時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 N I 3 4 D C H／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
＊授業時またレジュメにおいて示す。		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		

留意事項

- ・受講数によっては開講されない場合がある。
- ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
- ・履修に際しては、2022年度2期「キリスト教学X」ないし2023年度以降開講の「キリスト教学II」の単位を取得していることが望ましい。
- ・これまでに履修した「キリスト教学」科目を踏まえ、理解を深めたい事柄について精査し、それに関連する文献を探しておくこと。
- ・受講者数によって、スケジュールに変更が生じる可能性がある。

* 本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

キリスト教思想特講II					単位数	2単位
授業コード	15810	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	岡田 紅理子					
時間割備考						
授業形態（主）	2 演習					
授業形態（副）	1 講義					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
キリスト教は、ナザレのイエスという人物を核とした宗教運動として、ローマ帝国支配下においてユダヤ教内部から生まれた。つまりキリスト教は、ユダヤ教やヘレニズム・ローマ社会の思想的な影響を強く受け、形成されたのである。さらに、宗教改革・大航海時代から植民地・帝国主義時代、そして世界大戦を経るなかで、キリスト教はそれぞれの時代、文化、文脈と応答しながら、さまざまな変革・刷新を経験してきた。 本科目では、テーマに沿って履修者が持ち寄った文献を講読し、プレゼンテーションとディスカッションを交えることに軸足を置きつつ、いわゆる「世界宗教」となったキリスト教の經典である「聖書」を読み解くために必要な知識を身につけ、キリスト教の本質とアイデンティティを考察していく。 2期では、1期「キリスト教思想特講I」に続くものとして、イエス運動がキリスト教として成立し、発展してきた今日までの過程をカトリック教会を中心として概観していく。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	聖書に記された事柄を字面通り読み、理解しようとするのではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる				思考・判断・表現力／主体性	
2	聖書に記された事柄の史実性／非科学性ではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる				思考・判断・表現力／主体性	
3	イエス運動以降のキリスト教の歴史的また思想的な変遷を整理し、その特徴を具体的に説明できる				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	カトリック教会が省察してきた自らの使命について、出来事や思想・概念を交えながら具体的に説明できる				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業への取り組み態度（ディスカッション含む） 30%				1／2／3	
2	プレゼンテーション 30%				1／2／3	
3	レポート 40%				1／2／3／4	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
1. イントロダクション（1期の振り返り）						
事前学修	履修する理由、意義を考え、まとめる					1時間
事後学修	イントロダクションを踏まえて考えた（考え直した）履修する理由、意義をまとめる。また、自分の関心を考察し、講読したい書籍を探す					1時間
2. 講義：使徒たちの復活体験						
事前学修	キリスト教信仰における復活の重要性、また弟子たちの復活体験はどのような体験だったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる					2時間
事後学修	講義とディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる					2時間
3. プレゼンテーション：原始キリスト教の成立						
事前学修	キリスト教が組織化された背景、動機、経緯について、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす					2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる					2時間
4. プレゼンテーション：ユダヤ教との決別						
事前学修	キリスト教の組織化（成立）がもたらしたユダヤ教との関係の変化、キリスト教側が見出したユダヤ教との相違について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす					2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる					2時間
5. プレゼンテーション：使徒たちの宣教						
事前学修	キリスト教が成立した初期においてキリスト教信仰をもつ人々が直面した社会・政治状況について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす					2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる					2時間
6. 講義：「異端」との闘い						
事前学修	「異端」とはなにを指すのか、またその「異端」に対してキリスト教会はいかに対峙してきたのかについて、書籍を調べ、まとめる					2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる					2時間

7. 「正統」信仰の形成		
事前学修	「異端」と「正統」信仰の関係の具体例（具体的な実践、解釈）について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
8. プレゼンテーション：中世のキリスト教		
事前学修	中世ヨーロッパにおいてキリスト教会が権威主義化した要因（背景および論理）について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
9. プレゼンテーション：宗教改革と対抗宗教改革		
事前学修	ルターが何を訴えようとし、それによってキリスト教会（のちのカトリック教会）はいかに応じたのかについて、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
10. プレゼンテーション：世界宣教の時代		
事前学修	カトリック教会による世界宣教において宣教師間にあった異なる宣教理解、「異教徒」理解について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
11. プレゼンテーション：近代の教会①第一バチカン公会議		
事前学修	公会議とはなんであり、なぜ開催されるのか、また第一バチカン公会議開催の背景、そこでの議論、その後のカトリック教会の変化について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
12. プレゼンテーション：近代の教会②第二バチカン公会議		
事前学修	公会議が再度開催された背景、第二バチカン公会議がもたらしたカトリック教会の変化とそれへの各地からの神学的また実践面での応答と課題について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
13. プレゼンテーション：現代の教会①「地上を旅する」神の民		
事前学修	第二バチカン公会議閉幕以降（とくに1980年代以降）のカトリック教会が置かれた状況、いかなる理念によって何を訴えているのかについて、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
14. 講義：現代の教会②日本のカトリック教会と社会		
事前学修	日本におけるカトリック教会の状況および取り組みについて、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ（A3 1枚程度）に起こす	2時間
事後学修	講義とディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの執筆を進める	2時間
15. まとめ		
事前学修	第二バチカン公会議以降に提唱された神学を交えながら、現在のカトリック教会の役割と課題を考察し、まとめる	3時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの完成に取り組む	3時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 N I 3 4 D C H／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
*授業時またレジュメにおいて示す。		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・受講者数によっては開講されない場合がある。 ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。 ・履修に際しては、1期「キリスト教思想特講I」から継続して履修しているか、2022年度2期「キリスト教学X」ないし2023年度以降開講の「キリスト教学II」の単位を取得していることが望ましい。 ・これまでに履修した「キリスト教学」科目を踏まえ、理解を深めたい事柄について精査し、それに関連する文献を探しておくこと。 ・受講者数によって、スケジュールに変更が生じる可能性がある。		
*本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。		

キリスト教文化特講I				【単位数		2単位					
授業コード		15820		科目ナンバリング		410Z0-2340-o2		開講年度学期		2025年度第 1 期	
担当者氏名		岡田 紅理子									
時間割備考											
授業形態（主）		2 演習									
授業形態（副）		1 講義									
担当形態		単独									
研究分野（大学院）											
本授業の概要											
キリスト教は世界最大の信者数を擁する宗教だといわれる。しかし、一口に「キリスト教」といっても、カトリック教会、プロテスタント教会、東方正教会に大別されるうえに、形成背景、組織としてのあり方、信者が置かれてきた状況などはさまざまである。さらに、世界各地に広まっていくなかで、キリスト教は宣教地に影響を与えるだけではなく、自らもその土地の影響を受け、地域・国によって異なる発展を遂げてきた。 本科目のねらいは、「東アジア」および「東南アジア」と呼ばれる地域におけるキリスト教（特にカトリック教会）の歩みと現在のありようを、それぞれの土地の社会、文化との関係から検討することにある。1期では「東アジア」に、2期では「東南アジア」に注目する。											

6. 講義：台湾③日本植民地統治から「光復」後のキリスト教		
事前学修	日本による植民地支配の歴史に注目しながら、日本の敗戦後における台湾の歴史について書籍を調べ、まとめる	3時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる	2時間
7. ディスカッション：プレゼンテーションの構想		
事前学修	プレゼンテーションで取り上げる国・地域を決め、その宗教事情について書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	ディスカッションで出た意見を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる	2時間
8. プレゼンテーション：中国、香港、マカオ		
事前学修	中国、香港、マカオにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
9. プレゼンテーション：モンゴル		
事前学修	モンゴルにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
10. プレゼンテーション：韓国、北朝鮮		
事前学修	韓国、北朝鮮における宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
11. 講義：日本①日本キリスト教史の見取り図		
事前学修	日本におけるキリスト教宣教の歴史について書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義について考察しながら、レポート執筆に取りかかる	2時間
12. 講義：日本②戦国大名たちと宣教師		
事前学修	キリシタン大名たちについて、かれらが宣教師とどのような関わりを持っていたのかについて書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義について考察しながら、レポート執筆を進める	2時間
13. 講義：日本③迫害と潜伏、そして現代		
事前学修	「カクレキリシタン」ないし「潜伏キリシタン」の人々の信仰実践について書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させながら、レポート執筆を進める	4時間
14. 講義・ディスカッション：レポート講評		
事前学修	レポートでの工夫や困難について整理する	1時間
事後学修	ディスカッションで出た意見を踏まえてレポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させながら、レポートの執筆を進める	2時間
15. 講義：「在日コリアン」、華人・華僑の人々とキリスト教		
事前学修	日本で暮らす「在日コリアン」、華人・華僑の人々の宗教との関わりについて書籍を調べ、まとめる	1時間
事後学修	レポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させたレポートの完成に取り組む	2時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書> ・大出敦ほか『アカデミックスキルズ プレゼンテーション入門：学生のためのプレゼン上達術』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-76-642573-4 ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-76-642656-4 *その他は授業時またレジュメにおいて示す。		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		

留意事項

- ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
- ・受講者の人数によっては開講されない場合がある。
- ・継続して2期「キリスト教文化特講II」も履修することが望ましい。
- ・受講者の人数によって、授業スケジュールに変更が生じる可能性がある。
- ・本科目は、高校までのような体系的知識の伝授を目指す座学中心の科目ではない。プレゼンテーション、レポート、ディスカッションに向けて主体的に調べ、考え、言語化する姿勢が求められる。

* 本科目は2022年度2期において「キリスト教文化特講II」として開講していた科目である。そのため、同科目の単位を取得した学生が本科目の履修を希望する場合は、履修登録を完了させるよりも前に、必ずメールにて相談すること。

* 本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

キリスト教文化特講II				単位数	2単位
授業コード	15825	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	岡田 紅理子				
時間割備考					
授業形態（主）	2 演習				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
キリスト教は世界最大の信者数を擁する宗教だといわれる。しかし、一口に「キリスト教」といっても、カトリック教会、プロテスタント教会、東方正教会に大別されるうえに、形成背景、組織としてのあり方、信者が置かれてきた状況などはさまざまである。さらに、世界各地に広まっていくなかで、キリスト教は宣教地に影響を与えるだけではなく、自らもその土地の影響を受け、地域・国によって異なる発展を遂げてきた。 本科目のねらいは、「東アジア」および「東南アジア」と呼ばれる地域におけるキリスト教（特にカトリック教会）の歩みと現在のありようを、それぞれの土地の社会、文化との関係から検討することにある。2期では、1期の「キリスト教文化特講I」に続くものとして、「東南アジア」に注目する。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	キリスト教の信仰実践の多様性を考察し、論理的かつ具体的に説明できる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	講義・プレゼンテーションで取り上げられた国・地域のキリスト教のありようについて、関連性や共通性を考察できる			思考・判断・表現力／主体性	
3	講義・プレゼンテーションに関連する事柄をインターネットに頼らず書籍・論文から主体的に調べ、課題に反映できる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への取り組み態度（ディスカッション含む） 30%			1／2／3	
2	プレゼンテーション 30%			1／2／3	
3	レポート 40%			1／2／3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. イントロダクション（1期のおさらい）					
事前学修	「東アジア」とはどこを指し、なぜそれがまとまりをもった共同体かのように概念化されてきたのかについて書籍を調べ、まとめる			2時間	
事後学修	考えた（考え直した）履修する理由、意義を整理、まとめる			2時間	
2. 講義：「東アジア」とは					
事前学修	「東南アジア」とはどこを指し、なぜそれがまとまりをもった共同体かのように概念化されてきたのかについて書籍を調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる			2時間	
3. 講義：フィリピン					
事前学修	フィリピンの宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する			2時間	
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる			2時間	
4. ディスカッション：プレゼンテーションの構想					
事前学修	プレゼンテーションで取り上げる国・地域を決め、その宗教事情について書籍を調べ、まとめる			3時間	
事後学修	ディスカッションで出た意見を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる			2時間	
5. プレゼンテーション：ミャンマー（ビルマ）					
事前学修	ミャンマー（ビルマ）における宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する			2時間	
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる			2時間	

6. プレゼンテーション：カンボジア		
事前学修	カンボジアにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
7. プレゼンテーション：ベトナム		
事前学修	ベトナムにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
8. プレゼンテーション：タイ		
事前学修	タイにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
9. プレゼンテーション：ラオス		
事前学修	ラオスにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
10. プレゼンテーション：マレーシア		
事前学修	マレーシアにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
11. プレゼンテーション：シンガポール、ブルネイ		
事前学修	シンガポール、ブルネイにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
12. プレゼンテーション：インドネシア、東ティモール		
事前学修	インドネシア、東ティモールにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
13. 講義：日本における外国籍者とカトリック教会		
事前学修	日本で暮らす外国籍者の宗教との関わりについて書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義について考察しながら、レポートを執筆する	3時間
14. レポート講評		
事前学修	レポートでの工夫や困難について整理する	1時間
事後学修	レポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させながら、レポートの執筆を進める	2時間
15. ディスカッション：まとめ		
事前学修	半期の学びを通して気づいたキリスト教信仰の実践の多様性と意義についてまとめる	1時間
事後学修	ディスカッションで出た意見を踏まえてレポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させたレポートの完成に取り組む	2時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書> ・大出敦ほか『アカデミックスキルズ プレゼンテーション入門：学生のためのプレゼン上達術』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2573-4 ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4 *その他は授業時またレジュメにおいて示す。		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		

留意事項

- ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
- ・1期「キリスト教文化特講I」から継続して履修することが望ましい。
- ・受講者の人数によっては、開講されない場合がある。
- ・受講者の人数によって、授業スケジュールに変更が生じる可能性がある（一部、学外講師を招聘する可能性もある）。
- ・本科目は、高校までのような体系的知識の伝授を目指す座学中心の科目ではない。プレゼンテーション、レポート、ディスカッションに向けて主体的に調べ、考え、言語化する姿勢が求められる。

* 本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

キリスト教文学特講I					単位数	2単位
授業コード	15850	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第1期	
担当者氏名	山根 道公					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
日本文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家として芥川龍之介を取り上げ、作家の生涯を追いながら、キリスト教や聖書と関わる作品を取り上げ、エゴイズムと愛、神と悪魔、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渴望、同伴者イエス等のキリスト教的テーマに注目して作品を読み解くことを目的とする。そうした作品分析を学ぶことで、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べるができる。				思考・判断・表現力／主体性	
2	2. 芥川龍之介の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
3						
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業中の発言とリアクションレポート（30%）				1	
2	I 期末レポート（70%）				1／2	
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
1 日本の近代文学者とキリスト教について概説						
事前学修	シラバスを読んで授業で取り上げる作品についての理解を深めて授業に臨むこと					2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめること。					2 時間
2 芥川龍之介の破恋体験とキリスト教						
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。					2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめること。					2 時間
3 「老狂人」						
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。					2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめること。					2 時間
4 「羅生門」						
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。					2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめること。					2 時間
5 「鼻」「蜘蛛の糸」「杜子春」「白」						
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。					2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめること。					2 時間

6「煙草と悪魔」「るしへる」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
7「奉教人の死」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
8「きりしとほろ上人伝」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
9「南京の基督」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
10「神々の微笑」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
11「おぎん」「おしの」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
12「齒車」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
13「西方の人」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
14「続西方の人」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
15芥川龍之介の魂の渴望と死と聖書・（期末レポート作成について）		
事前学修	これまでの授業を振り返り、レポートに取り上げる作品、テーマ、方法など考え、問題点があれば質問できるように準備して授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
試験等		
Ⅰ期の期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）		
試験のフィードバックの方法		
リアクションレポートに対する応答は授業内に行う。 期末レポートについては、必要に応じてmanaで行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書等〉 適宜、授業内で紹介する。		
オフィスアワー		
オフィスアワーは金曜日 12：30-13：00。質問、相談等は授業直後および随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		

留意事項

取り上げる作品は事前に読んで授業に臨むこと。
リアクションレポートに意見・質問などをまとめて提出してもらうので主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講II				単位数	2単位
授業コード	15855	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	山根 道公				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
日本の現代文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家の代表として世界的にも評価の高い、岡山とも関係の深い遠藤周作を取り上げる。作家の生涯を追いながら、人間と人間を超えたものの関係と相克、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渴望、同伴者イエス等のキリスト教的テーマに注目し、作品を読み解くことを目的とする。そうした作品分析を学ぶことで、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べるができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	2. 遠藤周作の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	・ 授業中の発言・リアクションレポート…30%			1	
2	・ II 期末レポート…70%			2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 遠藤周作とキリスト教					
事前学修	シラバスを読んで授業で取り上げる作品についての理解を深めて授業に臨むこと				2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。				2 時間
2 遠藤周作と母と岡山					
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。				2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。				2 時間
3 遠藤周作と留学・フランス					
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。				2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。				2 時間
4 「アデンまで」「白い人」「黄色い人」					
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。				2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。				2 時間
5 「海と毒薬」					
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。				2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。				2 時間
6 「おバカさん」「聖書のなかの女性たち」					
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。				2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。				2 時間

7「わたしが・棄てた・女」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
8「満潮の時刻」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
9「沈黙」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
10「死海のほとり」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
11「侍」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
12「女の一生」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
13「スキャンダル」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
14「深い河」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
15遠藤周作の魂の故郷への帰還・（Ⅱ期の期末レポート作成について）		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2時間
試験等		
期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じてmanaで行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
読んでくるべき作品については授業中に指示する。 授業で資料を配布する。		
オフィスアワー		
オフィスアワーは金曜日12：30-13：00。質問、相談等は授業直後および随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
○授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。		

キリスト教文学演習I					単位数	2単位
授業コード	15860	科目ナンバリング	410Z0-3400-o2	開講年度学期	2025年度第1期	
担当者氏名	山根 道公					
時間割備考						
授業形態（主）	2 演習					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
近代・現代の日本文学において、芥川龍之介・太宰治・遠藤周作・三浦綾子・宮沢賢治・中原中也などをはじめとしてキリスト教と関わりのある文学作品を書いた作家は実に多い。また、外国のキリスト教と関わる文学作品からも多大な影響を日本の文学者は受けている。そうした文学作品を取り上げ、そこにこめられたキリスト教的主題（神・信仰・愛・罪・赦し…）や聖書の表現などを先行研究を調査し、分析、読解する方法を学び、それを踏まえて自分の選んだ作品の研究発表を行い、併せて論文作成の手順と技術について学ぶ。						
アクティブラーニングの実施内容		調査学習				
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	演習中に取り上げる作品およびその発表について自分の読解や意見を述べることができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	キリスト教や聖書との関わりのある作品を取り上げ、キリスト教的主題や聖書の表現等に注目して分析、読解して発表することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	自分の演習の発表を基にし、論文作成の手順と技術に即して、論文を完成させることができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	・演習中の発表…30%				1／2	
2	演習中の主体的参加態度、リアクションペーパー…30%				1／2	
3	期末レポート………40%				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
1 イントロダクション						
事前学修	・シラバスを読んで自分が取り上げる作家、作品の候補について考え、それらを読んで授業に臨むこと。					2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、自分が取り上げる候補になる作品について理解を深めておくこと。					2 時間
2 キリスト教と関わる作家と文学作品について						
事前学修	演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修						2 時間
3 キリスト教と関わる作品の研究発表及び先行研究の調査の方法について						
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業の内容について整理して理解を深めておくこと。					2 時間
4発表①						
事前学修	演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。					2 時間
5発表②						
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。					2 時間
6 発表③						
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。					2 時間

7 発表④		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
8発表⑤		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
9 発表⑥		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
10 発表⑦		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
11発表⑧		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
12発表⑨		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
13発表⑩		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
14発表⑪		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
15研究発表を踏まえた論文（期末レポート）作成の方法について		
事前学修	・ 自分の研究発表について論文にする上での問題点等について質問できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業の内容を整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
試験等		
期末レポート（課題は授業中に指示）		
試験のフィードバックの方法		
マナバで必要があれば期末レポートの講評を行う		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
読んでくるべき作品については授業中に指示する。I		
オフィスアワー		
オフィスアワーは、金曜日12：30-13：00 質問は随時、授業の後、また電子メールで受け付ける。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・ 演習では他の発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。		

キリスト教文学演習II					単位数	2単位
授業コード	15870	科目ナンバリング	410Z0-3400-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	山根 道公					
時間割備考						
授業形態（主）	2 演習					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
近代・現代の日本文学において、芥川龍之介・太宰治・遠藤周作・三浦綾子・宮沢賢治・中原中也などをはじめとしてキリスト教と関わりのある文学作品を書いた作家は実に多い。また、外国のキリスト教と関わる文学作品からも多大な影響を日本の文学者は受けている。そうした文学作品を取り上げ、そこにこめられたキリスト教的主題（神・信仰・愛・罪・赦し…）や聖書の表現などを先行研究を調査し、分析、読解する方法を学び、それを踏まえて自分の選んだ作品の研究発表を行い、併せて論文作成の手順と技術について学ぶ。						
アクティブラーニングの実施内容		調査学習				
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	演習中に取り上げる作品およびその発表について自分の読解や意見を述べることができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	キリスト教や聖書との関わりのある作品を取り上げ、キリスト教的主題や聖書の表現等に注目して分析、読解して発表することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	自分の演習の発表を基にし、論文作成の手順と技術に即して、論文を完成させることができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	・ 演習中の発表…30%				1／2	
2	演習中の主体的参加態度、リアクションペーパー…30%				1／2	
3	期末レポート………40%				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間				
1 イントロダクション						
事前学修	・ シラバスを読んで自分が取り上げる作家、作品の候補について考え、それらを読んで授業に臨むこと。					2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、自分が取り上げる候補になる作品について理解を深めておくこと。					2 時間
2 キリスト教と関わる作家と文学作品について						
事前学修	演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修						2 時間
3 キリスト教と関わる作品の研究発表及び先行研究の調査の方法について						
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業の内容について整理して理解を深めておくこと。					2 時間
4発表①						
事前学修	演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。					2 時間
5発表②						
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。					2 時間
6 発表③						
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。					2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。					2 時間

7 発表④		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
8発表⑤		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
9 発表⑥		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
10 発表⑦		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
11発表⑧		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
12発表⑨		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
13発表⑩		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
14発表⑪		
事前学修	・ 演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
15研究発表を踏まえた論文（期末レポート）作成の方法について		
事前学修	・ 自分の研究発表について論文にする上での問題点等について質問できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業の内容を整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
試験等		
期末レポート（課題は授業中に指示）		
試験のフィードバックの方法		
マナバで必要があれば期末レポートの講評を行う		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
読んでくるべき作品については授業中に指示する。I		
オフィスアワー		
オフィスタワーは、金曜日12：30-13：00 質問は随時、授業の後、また電子メールで受け付ける。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・ 演習では他の発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。		